

名所

氣トロケテ旗ヲ卷クコト、日ヲ不可期也、

〔日本鹿子〕^五駿河國名所舊跡之部

岡部 丸子と藤枝との間也、宿の名なり、○中略

宇津の山 岡部と丸子の宿との間也、げはしき坂也、宇津の谷とも云、業平の朝臣、東に下りし時、

此所にてす行者に都に言傳しけんといふも此所なり、○歌略

葛の細道 宇津の山のうちをいふなり、○歌略

木枯の森 府中と丸子との間に川あり、安部川と云、此水上に此木村あり、○中略

清見瀉、清見寺 沖津の宿近邊なり、寺は山かげ也、北は山、南は海也、清見が關といふは所寺の

門前なり、○歌略

清見がたより一里餘有りて、江尻といふ宿あり、三保より汐入の川一里西に有之、舟にて三保

へは川をさし出るなり、無雙の景地也、

三保の浦 同崎 同松原 同入海 西より東へ一里計海中へ出たる松原也、南は江尻につゞ

きたり、清見がたより三保は南也、入海の上一里あり、富士も三保よりはよく見えたり、言語に

つくしがたき景地也、入江より東の沖になりては、伊豆の海のうち也、○歌略

奥津の里 同川 海際也、北はさつた山といふ山あり、清見よりちかし、川は北より南へ流出た

り、○歌略

富士山 富士のすがたは、北へ遠く足をはりて、南西はけんそに見えたり、さるによりて、遠江よ

り駿河の宇津の山にて見るまでも、山のなりは同じ様なり、清みがたを過て神原を行々見れ

ば、丑寅にあたりてけんそに見ゆるなり、○中略

田子の浦 富士は川より少東也、岩本へ五十町ばかり也、かん原よりは東也、三保の入江よりう